

アブラキサン tri-weekly 療法

診断名：転移性乳がん

○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴):アブラキサン 260mg/m²

1 段階減量:220mg/m² 2 段階減量:180mg/m²

血漿分画製剤の同意書をとること。

(アルブミン懸濁型パクリタキセル製剤、特定生物由来製剤)

○注意事項

1. 本剤は添加物としてヒト血液由来成分を含有しているため、感染症の伝播を防止するために安全対策が講じられているが、ヒト血漿を原料としていることに由来する感染症伝播のリスクを完全に排除することができない。**初回投与前に血漿分画製剤の同意書をとること。**
2. 投与時にはインラインフィルターを使用しないこと。(アルブミン製剤のため)
3. 投与後血管外漏出がないか確認すること。(硬結、壊死を起こす可能性があるため)
4. 重篤な過敏症状、低血圧、高血圧、徐脈等が起こることがあるので、本剤投与中は、頻回にバイタルサイン(血圧、脈拍数)のモニタリングを行うなど、患者の状態を十分に観察すること。
5. 悪心・嘔吐・下痢の消化器症状と末梢神経障害は、タキソールより増加傾向にある。
☆末梢神経障害の症状軽減の目的に、リボトリール 0.5mg 分1眠前(適宜増量)が使用できる。他の治療薬として、牛車腎気丸、ビタミン B 群(メチコバル、ピドキサール)などがある。

○投与延期基準

ANC<1,500/mm³、PLT<10 万/mm³

高度(Grade3)な末梢神経障害が発現した場合には、軽快又は回復(Grade1以下)するまで延期

○減量基準

7 日間 ANC<500/mm³、PLT<5 万/mm³、発熱性好中球減少症、

高度(Grade3)な末梢神経障害が発現した場合